

ホシエヌ製薬株式会社

2015年度環境活動レポート

(対象期間: 2015年4月～2016年3月)



作成日: 2016年4月1日
更新日: 2016年6月22日

目 次

□ ごあいさつ	-----	1
□ 環境・安全衛生に関する事項		
□ 組織の概要	-----	2
□ 認証・登録の対象組織・活動		
□ 主な環境負荷の実績		
□ 環境目標及びその実績	-----	3
□ 環境活動計画の取り組み結果とその評価、次年度の取り組み内容	-----	4
□ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	-----	5
□ 代表者による全体の評価と見直しの結果	-----	6
□ 環境活動の紹介		

□ごあいさつ

昭和37年(1962年)。旧藤沢薬品工業(現アステラス製薬)の配置薬製造を目的として設立されました。以来、人々の健やかな生活に貢献することを基本理念に、より高品質の医薬品をつくることに専念してまいりました。2013年3月には田村薬品工業が親会社となり、田村薬品グループの一員となりました。現在では、医療用医薬品および一般医薬品など多品目を製造するまでにその事業規模を拡大しており、永年培った受託製造での知識と経験をもとにお客様に対して提案できる受託会社の実現を目指してまいります。また、弊社は奈良県の歴史的な地区に工場を持つ立地条件であり、人々の健康に奉仕する医薬品の製造工場として早くから経営上の重要な柱の一つと位置づけ、環境問題に取り組んでまいりました。これまでの取り組みの一端をご紹介します、弊社の環境保全に関するご理解をいただければ幸いです。

□環境・安全衛生に関する事項

基本理念

ホシエヌ製薬は、人々の健康で豊かな生活に貢献するため、環境保全と安全・衛生の推進に積極的に挑戦します。

環境・安全衛生方針

ホシエヌ製薬株式会社は、人々の健康に貢献する生命関連企業として、すべての事業領域で企業活動と地球環境の調和ならびに従業員の安全と健康の確保が経営の基幹要素であることを強く認識し、主体的に行動します。

1. 環境・安全衛生に関する法令、条例、協定などの遵守はもとより、自主基準を設定してその達成と環境負荷の低減(二酸化炭素排出量の削減、廃棄物の削減、排水量の削減、化学物質の管理)に努めます。
2. 環境・安全衛生活動に対してマネジメントシステムを構築し、組織的、継続的に取り組みます。
3. 事業活動のすべての領域で、環境・安全衛生への影響を評価し、目的・目標を定めて継続的改善を図ります。
4. 環境・安全衛生に配慮した製品および技術の提案、ならびにグリーン購入の推進に取り組みます。
5. 継続的なリスク低減活動により、環境汚染、労働災害などの事故の予防に努めるとともに、緊急時においては迅速かつ適切に対応し、被害の拡大防止に努めます。
6. すべての従業員が環境・安全衛生に高い意識を持ち、自ら社会的責任を果たせるよう、計画的に教育・訓練に努めます。
7. 環境・安全衛生活動に関する情報を開示し、社会とのコミュニケーションに努めます。

制定日： 2005年11月10日

改定日： 2016年4月1日

ホシエヌ製薬株式会社

代表取締役社長 西本 秋宏



□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

ホシエヌ製薬株式会社
代表取締役社長 西本 秋宏

(2) 所在地

本社・五條工場 〒637-0014 奈良県五條市住川町1380番地
高取工場 〒635-0153 奈良県高市郡高取町下土佐495番地1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 工場長 住吉 俊幸 TEL:0747-23-2533
担当者 総務部長 森田 正 TEL:0747-23-2533

(4) 事業内容

医療用及び一般用医薬品の製造販売

(5) 事業の規模

製品出荷額 26億円
主要製品生産量 539トン

	本社・五條工場	高取工場
従業員	136名	13名
延べ床面積	9,513m ²	4,948m ²

(6) 事業年度

4月～3月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: ホシエヌ製薬株式会社
活動: 医療用及び一般用医薬品の製造販売

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2013年度	2014年度 (基準年度)	2015年度 (レポート対象年度)
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	2,177,792	2,578,922	2,930,705
廃棄物等排出量	トン	57	67	87
廃棄物最終処分量	トン	2	3	3
総排水量(※)	m ³	10,576	9,741	12,234
化学物質使用量	t	6	4	4

(※)総排水量は地下水使用を含む。



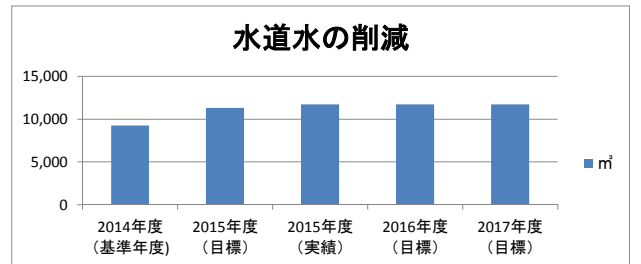
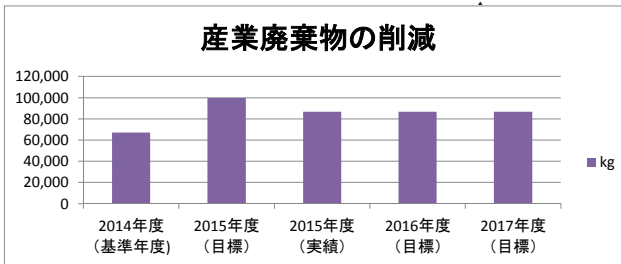
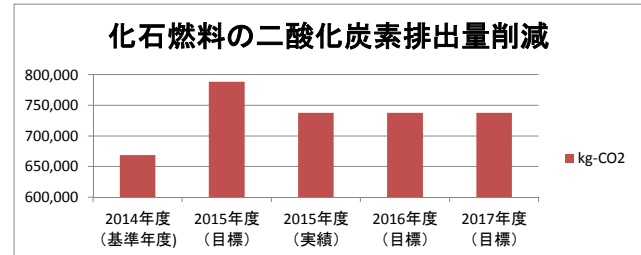
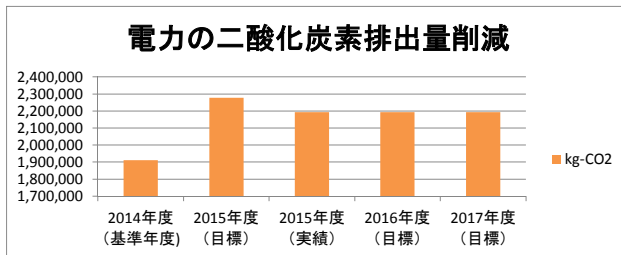
□環境目標及びその実績

全社合計

項目	年度	2014年度	2015年度	2015年度	2016年度	2017年度
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	1,910,161	2,277,412	2,193,138	2,193,138	2,193,138
二酸化炭素排出係数(0.522)	基準年度比		119.2%	114.8%	100.0%	100.0%
化石燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	668,761	788,418	737,567	737,567	737,567
	基準年度比		117.9%	110.3%	100.0%	100.0%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	2,578,922	3,065,830	2,930,705	2,930,705	2,930,705
産業廃棄物の削減	kg	67,214	99,810	86,845	86,845	86,845
	基準年度比		148.5%	129.2%	100.0%	100.0%
水道水の削減	m	9,264	11,314	11,720	11,720	11,720
	基準年度比		122.1%	126.5%	100.0%	100.0%
環境へ配慮した技術提案	目標件数		年間 1件	年間 0件	年間 1件	年間 1件
化学物質の管理	目標テーマ		適正管理	逸脱 0件	適正管理	適正管理
グリーン購入	目標購入率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※2015年1月より環境効率指標による目標設定の廃止を行い、前年度の実績比で数値目標を定めることとした。
また、今後も増産計画があるため目標値については暫定とする。

環境負荷の推移グラフ



五條工場

項目	年度	2014年度	2015年度	2015年度	2016年度	2017年度
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	1,662,954	2,038,447	1,956,324	1,956,324	1,956,324
二酸化炭素排出係数(0.522)	基準年度比		122.6%	117.6%	100.0%	100.0%
化石燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	659,541	777,276	713,644	713,644	713,644
	基準年度比		117.9%	108.2%	100.0%	100.0%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	2,322,495	2,815,723	2,669,968	2,669,968	2,669,968
産業廃棄物の削減	kg	61,401	82,462	79,528	79,528	79,528
	基準年度比		134.3%	129.5%	100.0%	100.0%
水道水の削減	m	6,048	6,884	6,773	6,773	6,773
	基準年度比		113.8%	112.0%	100.0%	100.0%
化学物質の管理	目標テーマ		適正管理	逸脱 0件	適正管理	適正管理
グリーン購入	目標購入率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

高取工場

項目	年度	2014年度	2015年度	2015年度	2016年度	2017年度
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	247,208	238,965	236,813	236,813	236,813
二酸化炭素排出係数(0.522)	基準年度比		96.7%	95.8%	100.0%	100.0%
化石燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	9,220	11,142	23,923	23,923	23,923
	基準年度比		120.8%	259.5%	100.0%	100.0%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	256,428	250,107	260,736	260,736	260,736
産業廃棄物の削減	kg	5,813	17,348	7,317	7,317	7,317
	基準年度比		298.4%	125.9%	100.0%	100.0%
水道水の削減	m	3,216	4,430	4,947	4,947	4,947
	基準年度比		137.7%	153.8%	100.0%	100.0%
化学物質の管理	目標テーマ		適正管理	逸脱 0件	適正管理	適正管理
グリーン購入	目標購入率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

□環境活動計画の取り組み結果とその評価、次年度の取り組み内容

数値目標：○達成(両工場達成) △やや未達(1工場達成) ×未達成(両工場未達成)
 活動：○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素排出量の削減		
数値目標	○	前年度よりCO2排出量が17.6%増加した(売上高30.8%増)。増加要因として、新規設備導入、作業室の修繕や改築等の工事を行ったことや、DSIの2シフト生産、POP検討、夜間打錠により作業時間が伸びた結果、使用量増加につながった。しかし、電力削減の取り組みとして、五條・高取工場照明のLED化や高取工場ラック倉庫屋根断熱塗装による倉庫内温度改善(6月～9月合計約5,060Kw/h(約106,200円)の削減)を行い電力削減に努めた。また、新規外觀検査機導入によりCO2排出量を約3275.87kg-CO2(約49.4%)削減した。
2015年度目標達成手段		
新製品(DSI)の安定及び効率生産を目指す	○	
食堂消灯の徹底強化	○	
2016年度目標達成手段		
新製品(DSI・POP)の安定及び効率生産を目指す		
作業室消灯の徹底強化		
化石による二酸化炭素排出量の削減		
数値目標	○	前年度よりCO2排出量が10.3%増加した(売上高30.8%増)。増加要因として、DSIの2シフト生産、POP検討、夜間打錠で作業時間が伸びたことや、中間製品保管室増築等で空調を長時間稼働した結果、使用量増加につながった。また、生産物量増加に伴い設備等の洗浄時間が増えたことで温水使用量が増加した。ガソリンについては社用車を1台増やしたことが増加要因となった。軽油については、フォークリフトをディーゼルからバッテリー式に変更したことで使用量がなくなった。使用量削減の取り組みとして、灯油に関して精衣工程で設備等の洗浄時間以外は温水を停止させるなどして前年度より62,950L削減できた。
2015年度目標達成手段	-	
電力の削減に特化したため、達成手段未設定		
2016年度目標達成手段		
新製品(DSI・POP)の安定及び効率生産を目指す		
産業廃棄物の削減		
数値目標	○	前年度より産業廃棄物排出量が29.2%増加した(売上高30.8%増)。増加要因として、DSIの2シフト生産、POP検討で生産物量が増加したことに伴い、再生紙やプラスチック、混合廃棄物等が増加した。しかし、削減の取り組みとして、DSI A細粒仕込サイズダウンを検討し1ロット約20kg削減を目指している。また、粉塵対策による清掃時間の短縮、製造方法の変更(変更管理)による効率化並びに収率向上、作業者のスキルアップ(設備構造・製剤特性)を図り製造安定稼働により廃棄物削減を目指している。
2015年度目標達成手段		
新製品(DSI)の安定及び効率生産を目指す	○	
新製品(DSI A細粒)廃棄細末の削減	○	
2016年度目標達成手段		
新製品(DSI・POP)の安定及び効率生産を目指す		
水道水の削減		
数値目標	×	前年度より、全体として水道水使用量が26.5%増加した(売上高30.8%増)。高取工場において生産物量は減少(売上高22.4%減)したが、高取工場開発・技術センター開設に伴う改築工事や精製水純粋装置稼働等により増加した。五條工場においてDSIの2シフト生産やPOP検討に伴い、精製水や洗浄水等の使用量が増加した結果、使用量増加につながった。しかし、削減の取り組みとして、ベッセル洗浄機導入により半年間で約4000m ³ (4t)削減等を行い水道水削減に努めた。
2015年度目標達成手段		
ベッセル洗浄機導入(年間8t削減予定)	○	
2016年度目標達成手段		
新規設備導入時節水タイプ採用		
化学物質の管理		
数値目標	○	適正管理を行った。
2015年度目標達成手段		
化学物質の保管状況、使用量等を適正管理	○	
2016年度目標達成手段		
化学物質の保管状況、使用量等を適正管理		
環境へ配慮した技術提案		
目標	×	新たな活動はなかった。次年度は1件の技術提案を目標にしている。
2015年度目標達成手段		
製品仕様(製造工程)において環境負荷が低減できる可能性を調査し、提案する	×	
2016年度目標達成手段		
製品仕様(製造工程)において環境負荷が低減できる可能性を調査し、提案する		
グリーン購入		
数値目標	○	グリーン購入の周知徹底や管理体制を整え、環境対応品購入比率100%を達成した。
2015年度目標達成手段		
グリーン購入を推進し、環境対応品購入比率100%を目指す。	○	
省エネ活動、技術等の情報収集(随時)	○	
2016年度目標達成手段		
グリーン購入を推進し、環境対応品購入比率100%を目指す。		
省エネ活動、技術等の情報収集(随時)		

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

弊社の五條及び高取工場に適用される環境関連法規は次の通りです。

適用される法規制	工場	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	五條	産業廃棄物(金属類・廃プラ類・廃油廃ガラス・汚泥など)、一般廃棄物(紙くず、生ごみなど)、特別管理産業廃棄物(廃アルコール)
	高取	
PCB特別措置法	高取	安定器
家電リサイクル法	五條	冷蔵庫、洗濯機、ブラウン管テレビ、エアコン、プラズマテレビ、衣類乾燥機
	高取	
自動車リサイクル法	五條	社有車
	高取	
フロン排出抑制法 (フロン回収破壊法)	五條	業務用冷凍冷蔵庫・業務用エアコン等
	高取	
省エネ法	五條	使用エネルギーは1500kL未満(原油換算)につき適用外
	高取	
騒音規制法	五條	空気圧縮機、送風機
	高取	
振動規制法	五條	空気圧縮機
	高取	
悪臭防止法	五條	イソブタノール・酢酸エチル・アンモニア・トルエン・キシレン
下水道法	五條	排水処理施設設置
五條市下水道条例		
水質汚濁防止法	高取	排水処理施設設置
浄化槽法	高取	生活排水浄化槽
公害防止協定	五條	廃棄物、工場排水、空気圧縮機、送風機、イソブタノール
毒・劇物取締法	五條	塩酸、苛性ソーダ、ヒドラジン他60物質
	高取	メタノール、塩酸、苛性ソーダ
PRTR法	五條	灯油中の含有キシレン及び1,2,4トリメチルベンゼン、アセトアミノフェン
消防法	五條	危険物製造所・危険物地下タンク貯蔵所・危険物屋内貯蔵所・少量危険物貯蔵取扱所・消防設備の設置
	高取	
高圧ガス保安法	五條	チラー、ガスボンベ、LPGバルクタンク
工場立地法	五條	敷地面積9,000㎡以上または建築面積3,000㎡以上

環境関連法規等の遵守状況の評価結果、環境関連法規等は遵守されていました。

関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。



□代表者による全体の評価と見直しの結果

機器洗浄機やLED照明等の新規設備を導入した結果、CO2排出量や水道水使用量削減は一定の成果を上げたが、増産や動員によりCO2排出量、水道水使用量、産業廃棄物等は増加した。次年度も新製品の増加や増産が見込まれ、環境の負荷が大きくなることが予想される。新規設備導入や従業員個々の活動を積極的に実施していきたい。

□環境活動の紹介

工場周辺美化活動

定期的に工場周辺の美化活動を実施しています。



防災訓練

五條工場高取工場共に年1回訓練を実施しています。

消火栓を使った放水訓練、けが人を想定した救助訓練を行いました。

